



(標題：中野雄一元病院長)

健康メニューの紹介 ～治療を支えるおいしい食事を目指して～

栄養管理部は、他部門と連携しながら患者さんの栄養管理に関する業務を担っており、入院患者さんへの食事提供は最も重要な業務です。提供する食事は、病状にあわせ、安全で、おいしく、患者の皆様の治療を支え、少しでも心がなごみ楽しんでいただけるような食事を目指し、試行錯誤を重ねています。

例えば、主食のご飯は、県内産のコシヒカリを使用していますが、調理や盛付けだけでなく食器にも配慮しています。盛付けてからお届けするまで時間がかかってしまうため、ご飯が乾燥しにくい素材や形状を吟味し、色彩も視力障害の方に白いご飯と器の見分けがつきやすいように、内側が白色以外のものを使用しています。また、前回の食事調査の結果では、軟らかいご飯を希望される方が3割以上であったことから、ご飯とお粥の中間の硬さの「軟飯」の提供を始めています。

患者さんに好評の献立を紹介します。写真は「肉じゃが」の献立です。

煮物は塩分が多くなりがちですが「肉じゃが」はある程度しっかり味をつけ、副菜に「揚げ豆腐のだしわり醤油添え」「小松菜と水菜の辛子酢あえ」といった煮物ではない料理を組み合わせることで味のバランスや塩分などの栄養面のバランスもよくなります。肉じゃがを塩分控えめでもおいしく作るコツ

は、野菜がよく煮えてから調味料を加えることです。調味料を加えた後は火を強め、煮汁の水分を飛ばし仕上げます。材料の中はだしや素材のうまみ、周りは砂糖と醤油の味をしっかりつけるイメージです。

副菜の「小松菜と水菜の辛子酢あえ」はさっぱりとした一品です。醤油だけの味付けのお浸しではなく、醤油を減らし、代わりに酢、辛子少々を加えてあえます。他の食材でもお試しください。

(栄養管理部 村山 稔子)

肉じゃが(2人前)

1人あたり栄養量

熱量189kcal たんぱく質11.8g 食塩相当量1.2g

- ・豚もも肉薄切り 90g
- ・じゃが芋 160g (中2個)
- ・玉ねぎ 60g (中1/3個) ・人参 50g (中1/3本)
- ・白滝 30g ・グリーンピース 少々
- ・油少々
- ・だし汁
(材料がひたひたにかぶる程度)
- ・酒 小さじ1強
- ・砂糖 小さじ2
- ・醤油 小さじ2と1/2



本院の理念・目標

◆ 理念 ◆

- ・生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します

◆ 目標 ◆

- ・患者本位の安全で安心できる医療を提供します
- ・豊かな人間性と高い倫理性を備えた質の高い医療人を育成します
- ・研究成果を反映した高度で先進的な医療を実践します
- ・地域連携を推進するとともに地域の医療水準の向上に貢献します
- ・病院運営の適正化と効率化を促進します

患者の権利と責任

1. 個人の尊厳が尊重され、良質で公平な医療を受けることができます
2. 病状、治療、看護等について十分な説明と情報提供を受けることができます
3. 他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます
4. 自分が受ける医療について自分の意思で決めることができます
5. プライバシーが尊重され、医療の過程で得られた個人情報は保護されます
6. 医療者と協力し、自らの医療に積極的に参加する責任があります

中央診療施設紹介 21

魚沼地域医療教育センター



～あなたの街にある、もう一つの大学病院～

平成26年6月、南魚沼市浦佐に450のベッドを持つ魚沼基幹病院が開院しました。この地域は、新潟県中で最も医師が少ない医療圏であるにもかかわらず、どうしてこのようなことが実現したのでしょうか。

魚沼基幹病院では75名の医師が診療にあたっていますが、実はそのうちの44名は大学病院所属の医師なのです。開院の前年、平成25年に、新潟大学、新潟県、新潟県地域医療推進機構の間で、魚沼基幹病院内に魚沼地域医療教育センターを設置する協定が結ばれました。こうして配置された教育センター所属の特任教員（＝医師）44名は、31名の魚沼基幹病院医師と一緒に診療を行っています。魚沼基幹病院は、“基幹病院”という名前が示すとおり、魚沼地域で救命救急医療や高度医療を提供することが最大の使命です。救命救急部門は、“断らない救急”をモットーに24時間365日救急患者を受け入れています。

また、これまで魚沼地域では実施されていなかったガンの手術、化学療法や放射線治療なども行っています。さらに教育センター医師は、以下の業務にも携わります。

①医学部5年生（全員）、6年生（選択）を対象とした臨床実習教育、②医学部卒業後1・2年目の研修医を対象とした臨床研修教育、③医学部卒業後3年目以降の各科専門研修医の研修教育、④国内、海外学会発表や、和文、英文論文執筆などの研究活動、⑤魚沼地域にある医療機関と連携した地域医療貢献、などがその主なものです。

もう一步進んで、浦佐伝統の“裸押し合い祭り”や“グルメマラソン”に参加する医師もいます！

地域医療教育センター魚沼基幹病院は、魚沼（浦佐）にあるもう一つの大学病院です。もしあなたのお住いが中越地区で新潟大学病院への通院が大変だったら、魚沼基幹病院への受診を考えてみるのいいかもしれません。

（魚沼地域医療教育センター 高田俊範）

▶浦佐伝統
“裸押し合い祭り”
に参加する医師達



院内コンサートを開催しました

入院患者さんを対象とした院内コンサートを開催しました。本コンサートは、本院教職員が中心となって企画したもので、平成28年11月30日にウインターコンサートを、平成29年3月2日にスプリングコンサートを開催しました。

いずれのコンサートも70人以上の患者さんやご家族が来場され、美しい音色に手拍子をしたり、一緒に口ずさんだりして、皆様それぞれに楽しい時間を過ごされていました。

院内コンサートは定期的で開催しております。主治医の許可を得たうえでご来場ください。





病気の基礎知識 21 「障がい者の歯科治療」

「キーン！」歯科治療というと、まずは歯を削る際のあの甲高い金属音を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。大人になっても「あの音が苦手」という話をよく聞きます。ましてや障がいのある方にとっては「あの音」がハードルになる場面が多々あり、治療に協力できないという方が少なくありません。

だからこそ治療が必要な状況になる前に「お口の定期健診」を行い、それぞれに適した口腔ケアの方法を考え、日々実践していくことが何より重要だと思われます。治療への協力は難しくとも、定期健診であれば上手にできるという患者さんは多くいらっしゃいます。特に低年齢時から定期健診を繰り返すことはとても有効であり、大きなトラブルなく年齢を重ねていける原動力となります。

「それができなかつた時はどうなるの？」当院では、障がいのレベル、お口のトラブルの状況によっては、全身麻酔下歯科治療をお勧めしています。お口の中はとても敏感ですから、髪の毛一本だって感じるすることができます。裏を返せば歯科治

療にはマイクロレベルの精度が必要となるのです。したがって治療に協力できない、体が動いてしまう状況だと十分な治療ができないのが現状です。しかし全身麻酔であれば、動くこともありませんし、何よりも患者さんの心に歯科治療のイヤな記憶を残すことがありません。

近年は全身麻酔の安全性が向上し、質の高い歯科治療とともに、一度に多くの治療ができること、通院回数が少なくなるなどのメリットがあることから、全国の医療機関でその利用が増えています。

小児歯科・障がい者歯科 教授 早崎 治明
助教 岩瀬 陽子



治療前



治療後

災害対策訓練を実施しました

平成28年10月22日（土）、本院において、災害対策訓練を実施しました。

当日は、医師、看護師、技師、事務スタッフ、学生ボランティアなど約130名が参加し、緊迫した雰囲気の中、真剣に訓練に取り組みました。

訓練は、新潟市西蒲区で震度6の直下型地震が発生し、院外では、火災や事故が多数発生しているという想定のもと、各部署で訓練を行い、また外来エントランスホールにおいて、実際にトリアージ（重症度と緊急性によって患者さんの治療の優先順位を決めること）を行うなど、本番さながらの訓練となりました。

大規模災害時の対応を想定した今回の訓練に対して、参加者からは、「多くの問題に対して、集団で協力して改善していく過程を経験でき、非常に有意義だった。」、「リーダーシップの重要性が理解できた。」との感想があり、非常に実りの多い訓練となりました。

本院では、今後も定期的に訓練を続けることで、新潟県における基幹災害拠点病院（下記参照）としての使命を果たしていきます。

■基幹災害拠点病院とは

地域災害拠点病院の機能（重篤患者の救命医療・受入と搬出を行う広域搬送・自己完結型医療救護班の派遣・被災医療機関への資器材貸し出し）に加え、災害拠点病院の機能を強化するための訓練・研修機能を有する病院で、本県では本院と長岡赤十字病院が指定されています。

▶模擬患者を前に訓練を行う参加者





こんにちは!
海のみえる図書館です

海のみえる図書館のご案内

海のみえる図書館は、東病棟の12階、文字通り日本海を臨み、晴れた日には遠く佐渡の島影もうかがうことができる絶好のロケーションに位置しています。

ゆっくり本を読む場所がほしい、自分や家族の病気や治療について調べてみたい、インターネットで情報を手に入れたい、など皆様のご希望にお応えいたします。

入院患者さん、外来患者さん、ご家族、お見舞の方々などにご利用いただけます。



- 利用時間 月曜～金曜 10:00～16:00
- 休館日 土曜、日曜、祝祭日、年末年始等の病院休診日
- 利用方法 ご自由にお入りください。図書資料を閲覧、視聴できます。
- 主な図書資料 図書(医学図書、一般娯楽図書等)、雑誌、視聴覚資料(ビデオ等) ※ビデオ、DVD等の持ち込み可。
- 貸出し 貸出日から2週間以内、3冊まで ※貸出しできない図書もありますので、ご了承ください。
- コピーサービス なし
- インターネットの利用 有料(アメニティカード使用、15分100円) パソコン3台

ウインターイルミネーション



今回で11回目となるウインターイルミネーションが、平成28年11月24日から平成29年1月9日まで、病棟前広場をきらびやかに彩りました。

点灯式では、カウントダウンに合わせてスイッチが押された瞬間、居合わせた患者さんやご家族から大きな歓声があがりました。

寒い冬の中でも明るい光に包まれることで、皆様の心に癒やしと勇気を与えられたことと思います。

サンタさんの病棟訪問

平成28年12月19日にサンタさんが病棟を訪問し、患者さんにクリスマスカードを配りました。カードを受け取られた患者さんは、笑顔でサンタさんと記念撮影をするなど、一足早いクリスマスを楽しまれました。写真は病棟を訪問する前にスタッフ一同で集合したもので、中央はサンタさんに扮した鈴木病院長です。



新大病院たより「和」のバックナンバーは本院ホームページ
(<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/about/koho.php>) をご覧ください。

発行 新潟大学医歯学総合病院広報委員会

(お問い合わせは総務課総務係 電話 025-227-2407,2408まで)